【草花の部屋】

フロミス・ルッセリアナセージ（シソ科フロミス属　Phlomis　russeliana　）

和名：ラージエルサレムセージ　　別名：　　英名：

シソ目　常緑多年草　　原産地：トルコ

花言葉：　　花の色：黄、桃

← 写真−１　フロミス・ルッセリアナセージ
撮影日：2016 年 06 月 03 日
撮影場所：モネの家
～ジュヴェルニー(フランス)にて
撮影者：M　さん

↘ 写真−２　フロミス･ルッセリアナセージの花
撮影日：2016 年 06 月 03 日
撮影場所：モネの家
～ジュヴェルニー(フランス)にて
撮影者：M　さん

ジュヴェルニー(フランス)にあるモネの家でみかけました。

草丈は 1m程で、冬に落葉するタイプです。草丈が高いので、ラージエルサレムセージと呼ばれることもあるそうです。株は直立して、セージに似た感じがありますが、セージではありません。

株はロゼット状で初夏に長い花茎を伸ばして段状に輪生する花を咲かせます。

葉はシワが目立ち、細かい毛がはえ全体的に白っぽくみえます。

日当たりを好みますが、やや日陰でも耐えるそうです。同じ仲間のエルサレムセー

ジに似ていますが、エルサレムセージの葉っぱは肉厚で灰緑色が強く花色も濃い黄色です。エルサレムセージの耐寒性は低いのですが、ルッセリアナは寒さに強く寒冷地の路地植えで越冬が可能だそうです。

花壇に植える場合は、日当たりと水はけのよいところに植え付けます。自然風の庭に合いますが、花が規則正しく輪生する装飾的な姿から整形花壇にも使えるそうで、ボーダーガーデンやペレニアルガーデンのポイントに使うと効果的だそうです

鉢やプランターに植えた場合も、日当たりのよいところで育てます。ただし、やや夏の高温多湿を嫌うので、夏場は半日陰に移した方が安全だそうです。

フロミスの仲間はいくつか出回っていて、ルッセリアナの他、鮮黄色の花を咲かせるエルサレムセージや薄茶色の萼からピンクの花を咲かせるサミアなどがあるそうです。性質はほとんど同じだそうです。

＜ちょっと一言＞

＊ペレニアルガーデン

ペレニアル(perennial)は、「絶え間ない」、「永続的な」といった意味を持ち、植物では多年生（宿根草）のものを指します。つまり、ペレニアルガーデンとは、多年生植物中心の植栽でつくる庭のことです。

実際の庭は、樹木や一・二年草、球根植物も入って構成されますが、多年草をメインにデザインされた庭を総じてペレニアルガーデンと呼びます。